

ギャンブル等依存症対策研究会の設置について（H30年度予算2,640千円） 《資料3》

設置目的

IR誘致を契機に、世界の先進事例に加え、大阪独自の対策をミックスした総合的かつシームレスな取組み（大阪モデル）を構築するための調査・研究を行う。

研究テーマ

- ①ギャンブル等依存症の実態把握に向けた調査・研究
 - ・今後の実態把握の手法の検討
 - ・相談内容の検証による実態把握
- ②IT技術の進歩を踏まえた先進的な依存症対策の研究
 - ・ITを活用した行動把握方法やデータの活用方法
- ③大阪独自の依存症対策のあり方研究
 - ・IR事業者へ求める依存症対策
 - ・府内で充実させるべき依存症対策の検討
 - ・海外の先進事例の研究

上記のテーマ別に、具体的な施策検討のため、学識者や医療者から知見や助言を得るとともに、実務的な情報収集や意見交換を行う。成果は施策立案に活かす。

『大阪IR基本構想案・中間骨子より』〈想定される対策例〉

加ノエリア：最先端の技術を導入した入場規制やゲーミング規制の導入
夢洲エリア：夢洲全体を実証の場とし最先端の依存症予防対策の研究・開発

構成と運営イメージ

研究会は、機動的・効率的に実質的議論を行うため、常時参画する研究委員と行政をコアメンバーとし、議題とするテーマに応じて、特定領域に着目した専門家である専門委員やゲストスピーカーを加えた形で開催、運営する。

開催頻度

5月末から12月末までに毎月、1～2回程度開催予定。

調査・研究成果と区域認定プロセスとの関係

調査・研究をふまえ、IR推進局において実施方針、事業者公募、区域整備計画等を策定。

府内全域：教育、予防、医療提供体制、相談支援、民間団体活動支援、連携協力体制整備、人材確保等、調査研究推進 実態調査